



渚滑っ子

教育目標：人間性豊かな児童の育成

～自ら気づき、自ら考え、自ら行動する子～

令和5年11月24日発行

文責：校長 佐藤 進也

令和6年度の「目指す子どもの姿」について

学校では令和6年度の教育活動について計画を立てる作業を進めています。“まだ年度末（3月）が終了していないのに、なぜ？”と思われるかもしれませんが、じっくりと次年度の教育活動について考えていくため、この時期から今年度の教育活動についての振り返りを行います。特に「**目指す子どもの姿**」（重点教育目標）については、4月から様々な場で発信を続け、教育活動を価値付けてきました。

本校では10月から次年度の「目指す子どもの姿」について教職員で議論を重ねています。これまでの教育活動を通してどんな成長が見られたのか、どこをもっと伸ばしたらよいかを教職員内のアンケートや会議、研修を通してその共有を図っています。

今年度の「**目指す子どもの姿**」（重点教育目標）を一言で言うと「**関わり合える子**」です。これまで子どもたちの姿を通した「関わり合える」姿を様々な形でお伝えしてきました。「関わり合える子」を育てるため、①振り返りを大事にし、次に向けて頑張る【自己評価能力】、②自分に合った課題を設定し、粘り強く課題を解決する【自己調整能力】、③言葉を大事にし、相手の存在を受け止める【望ましい人間関係の形成】、を大切に、学習集団づくりや人間関係形成のための日常的な指導、子ども同士で問題を解決する必要感や意図をもたせた場面設定を全教育活動で意図的・計画的に行ってきました。

このような取組を踏まえた上で、今年度を振り返った教職員の議論の中に、成果として、

- ・様々な行事を大きな変換点として、【集団としての人との関わり方】や【対人との言葉のやり取り】など育ったように思う。

- ・自己評価能力・自己調整能力・望ましい人間関係の3つの視点を全校で共有していたことで、学校全体で、【振り返る力】や【問題に向けた課題設定の力】などを育てることができたと思う。

などが挙げられる一方、課題として見られたのは、

- ・状況を把握する力（今は何をやる時間〈学習、休み時間〉なのか、話しても良い内容なのか）。
- ・自分を客観視できる力。

などです。私たちは学力の向上を目指すことを大事にしていますが、それと同じくらい、場合によってはそれ以上に非認知能力を高めることを大事にしています。非認知能力とは、積極性や粘り強さ、リーダーシップやモチベーションの高さといった数値では図りにくい能力のことです。ただし、子ども一人一人がもっている“よさ”（できること・できないこと、性格など）を丸ごと受け止めつつ（丸ごと受け止めるとは、変えることをよしとしないことも含む）、学校の教育活動を通してはぐくめるもの、検証可能なものに焦点を当てながら、現在、学校としてとことん議論を重ねている段階です。

今後、「**目指す子どもの姿**」を決めていくのに大切な情報として、保護者のみなさまや子どもたちのアンケート（学校評価）があります。12月に学校評価アンケート用紙を配布しますので、ぜひともご家庭から見えた子どもたちの成長や次年度に身に付けさせたい力について記載いただきたいです。また、学校評価アンケートには学校や教職員に対する励ましの言葉を記載する欄も設けていますので、記載いただければうれしいです。

「関わり合える子」を意識した教育活動

【目的意識・相手意識を大切にしながら、自分たちで活動を創りあげる（収穫祭）】

10月26日（木）は収穫祭でした。春から育ててきた野菜を使ってカレーをつくりました。

カレーをつくるだけでなく、これまでの活動の振り返りをスライドで発表したりクイズを出して楽しんだりしてもらうなど、子どもたちの工夫が見られた取組となりました。

「関わり合える子」（自己評価能力・自己調整能力・望ましい人間関係の形成）の視点からこの活動を捉えたとき、それぞれの力を活用できるとは、「目的意識・場面意識・相手意識」を大切に、行動に移すことができたときです。本校の子どもたちは目的意識・相手意識（この活動で言う相手意識は、収穫祭でお世話になった人をもてなしたい）は十分に育っていますが、いざ活動を創りあげるとなるとその難しさに直面しました。「自分たちで」の視点が十分でなかったため、いざ活動を子どもたち自身の手で運営するとなると具体的なイメージがもちにくいことがわかりました。今までは指導者からの指導・支援・援助があってこそその取組でしたが、



少しずつ子どもたちが主体的に活動に取り組める力を身に付けさせる必要があると思います、この活動で意識的に取り組ませました。むしろ、スムーズに事が運ばなかったからこそ価値ある学びになりました。

【「関わり合える子」をはぐくむ中心は授業（公開授業研究会）】

11月10日（金）に市内の先生方に参観いただき、公開授業研究会を行いました。授業は「関わり合える子」をはぐくむ最も大事な時間・場であることから常によりよい授業を考えていく必要があります。じっくり授業について振り返ったり他校の先生方の意見をいただいたりしながら授業改善に努めています。特に、①その時間にどんな力を身に付けさせたいのかが明確になっているか。②子どもの進んで学ぶ姿がどこに見られたのか、の2点に絞り、協議しました。

普段から授業をよくしようと先生方は日々努力を続けていますが、他の学校の先生方から授業についての感想をもらうことで、普段気付かない点に気付かされます。だからこそ、授業を公開し、授業について考える場が必要であると考えます。



学校だよりだけでは伝えきれない日常の教育活動の様子を学校HPで紹介していますので、ぜひご覧ください。



12月の主な行事予定

1日（金）全校朝会・参観日

※4日（月）学校評価配布

（ご協力お願いいたします。）

18日（月）～大掃除週間

※19日（火）学校評価締切

22日（金）大掃除、終業式

定例職員会議

28日（木）～1/4（木）学校閉庁日

※ノーチャイムデーは下校時刻が変わりますので、学級通信で確認ください。